

志学館と都市大塩尻高

貴重な体験授業互換修了

塩尻志学館高校と東京都市大塩尻高校の生徒が、それぞれ相手校の授業を受けて単位を取得する「学校間連携事業」の本年度の閉講式が20日、



東京都大塩尻高の生徒が、高橋校長から修了証を受け取った

志学館高で開かれた。農産物の栽培や加工を学ぶ科目「生物活用」を履修した都市大塩尻高の3年生が修了証を受けた。

都市大塩尻高の5人が野菜を栽培し、漬物やジャムといった加工品を作った。3年の加藤巧真さん(17)は「取れたての野菜は甘くておいしかった。農業を通して学んだ食のことを、今後の一人暮らしに生かしたい」と充実した日々を振り返った。塩尻志学館高の高橋忠志校長は「貴重な体験が今後の人生にいい影響を与えることを期待する」と激励した。式の後、自分たちで栽培した野菜で作ったカレーを皆で試食した。

塩尻志学館高の生徒は

7人が「CGデザイン」を公立校と私立校による連携で、27日に都市大塩尻 携事業は全国的に珍しい高で閉講式が開かれる。という。(長尾浩道)

無断転載禁止

著作権は市民タイムスに帰属します

転載承認済

東京都大学グループ
学校法人 **五島育英会**